

(様式4)

令和3年度 都道府県部会 事業報告

1. 活動テーマ

政令指定都市・中核市・特別区部会が中心となって実施する調査研究事業「新型コロナウイルス感染症に関して保健所に増員された保健師等の業務について」に協力し、都道府県の現状と課題について整理する。

2. 目的

新型コロナウイルス感染症にかかる保健所保健師の体制強化や保健師の役割、人材育成に関する取組の実情等を調査し、今後の保健師体制の確保や人材育成に活かす。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	6月14日	メール会議	【5名参加】 活動方針、事業計画の確認
2	7月16日、29日	メール会議	【5名参加】 調査票(案)等の確認、意見集約
3	10月11日	メール会議	【5名参加】 調査概要中間取りまとめに係る意見交換
4	12月13日	ウェブ会議	【5名参加】 調査結果(都道府県分)に係る分析、まとめ
5	2月28日	メール会議	【5名参加】 調査報告書(案)への意見照会

4. 結果・課題

調査実施時期が第5波と重なり、都道府県の回答率は57.4%と低かった。都道府県においては、「平常時からの健康危機管理体制づくり・保健所の体制づくり」が最も重要な課題とする回答が55.6%と多かった。また、体制強化として、本庁勤務の保健師を各保健所に派遣する応援体制を整備したり、市町村と応援派遣協定を締結し、業務ひっ迫時に積極的疫学調査等を行う保健師の派遣要請を行っていた。平常時からの人材育成も含めた応援体制の整備が課題。

5. 支部活動の特徴

昨年度に引き続き、各県が新型コロナウイルス感染症対応に追われ、直接の協議・意見交換の場がウェブ会議1回のみであった。

6. 委員・支部長

- 坂本 裕子 鳥取県倉吉保健所 医薬・感染症対策課長
- 高橋 雪子 群馬県こころの健康センター相談援助第一係技師長
- 青木 範子 青森県健康福祉部がん・生活習慣病対策課総括主幹
- 梶 美恵子 石川県石川中央保健福祉センター一次長兼企画調整課長
- 上原 健司 沖縄県中部保健所地域保健班主任保健師